



平成 28 年 12 月 13 日
P C I ホールディングス株式会社
(コード番号：3918 東証第一部)
グループ戦略本部グループ戦略室

「Dolphin Breeding Project」 支援のお知らせ

当社は、企業価値の尺度として「財務情報」(Financial Information)に加え、環境や社会との調和を重視した「企業の社会的責任 (CSR=Corporate Social Responsibility)」を重要な経営課題のひとつと捉え、国連 WFP への支援やプロスポーツ選手のスポンサー活動等に取り組んでまいりました。また近年では、「ESG (Environment=環境、Social=社会、Governance、企業統治)」による企業評価基準が浸透してきていることから、当社が提供する情報サービスを通じた E (=Environment) への貢献、即ち、各種環境負荷低減への貢献も目指しております。

こうした取り組みの中、当社グループは、E (環境) への更なる取り組みとして、WWF (=World Wide Fund for Nature、世界自然保護基金) が世界各地で展開する「生物多様性の保全」を目指した自然保護プロジェクトへ着目し、Dolphins Pacific (<http://www.dolphinsofpacific.com/jp/index.php>) が取り組む「Dolphin Breeding Project (イルカ繁殖プロジェクト)」を支援することといたしました。

世界的な鯨類保護の流れの中、同団体の「Dolphin Breeding Project」は、「誰もが行える人工繁殖・人工授精方法の確立、出産後の子イルカの育成方法をまとめ、飼育下のイルカや負傷保護された野生下のイルカの保護、リハビリ、保全に寄与する事」を目的に推進されています。

また、水質が良く、温暖な気候に恵まれ、広大な敷地面積を持つ屋外施設での Breeding Project により、『出産成功率』と『育児』の問題が解決されています。

<親イルカの『育児』の様子>





【写真】

Dolphins Pacific は、治療を目的とするいわゆる「イルカ・セラピー」とは一線を引き、「イルカとのふれあいによる癒し」を提供する施設を運用しています。「イルカの特殊能力の研究及び環境教育の教材としてイルカを飼育し、またその特殊能力を体感出来る施設の管理・運営」を目的に 2000 年 7 月にパラオ共和国に設立され、「世界最大級（約 100,000 平方メートル／32,000 坪）、東京ドーム 2 個分に相当）のイルカと触れ合える施設」を非営利企業として運営しています【写真】。

同団体は、基本理念として（1）環境教育、（2）誰もが楽しめる施設、（3）パラオ観光産業振興を掲げ、クニオ・ナカムラ前パラオ大統領、Belau Family Student & Community Association（BFSCA）、Palau Parents Network（PPN）、Dr. Richard Ferraro（音声研究学者）、Mr. Hommer O. Porter（元 U.S.NAVY 海棲哺乳類研究責任者）、アントニオ猪木氏（イノキ・ファンデーション理事長）、永田雅一氏（海洋ジャーナリスト／キャプテンマック海洋研究所所長）といった個人・団体が主なアドバイザー・ボードメンバーとなっています。

提供するアクティビティーからの収益は、運営費の他に"Education & Therapy" 部門（パラオの子供達・障がい者の招待費、イルカの持つ特殊能力の研究開発費等）への充当が予定されています。

<"Education & Therapy"の様子>



当社グループはこれからも「安心・安全・豊かな社会」の実現に向け、そして、人と環境、企業と社会をやさしく結びつける企業として、グローバルに支援活動を継続してまいります。

以 上

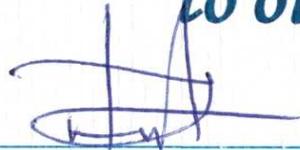
Certificate of Appreciation

Awarded to

Toyomi Amano (C.E.O)

PCI Holdings, Inc.

*Thank You for your generous support and assistance
to our Dolphin Breeding Project.*



Hiroyuki Tanaka
President



Carol Ngiraidis
Vice-President/CFO

